

インドネシアで相次ぎ分譲マンションを供給 (仮称)BSDプロジェクト・(仮称)Simatupangプロジェクト 2015年販売開始

東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区、社長:三枝利行)は、インドネシア共和国において分譲マンション事業「(仮称)BSDプロジェクト」および「(仮称)Simatupangプロジェクト」の販売開始を決定したことをお知らせします。

インドネシアにおいても日本の分譲マンション開発ノウハウを活かし、環境配慮・居住性の高さ・住み心地の良さ・セキュリティの高さなどを追求した、「ずっと住み続けたい」と思っていただけのような商品化を進めております。



(仮称)BSDプロジェクト



(仮称)Simatupangプロジェクト

◆(仮称)BSDプロジェクト

✿ 約6,000haにおよぶ大規模開発の一角に誕生

本プロジェクトは、ジャカルタ中心部から約25kmのジャカルタ郊外で開発が進むプミ・スルポン・タマイ(BSD)地区中心エリアの一角に位置する開発プロジェクトで、敷地内に31階から34階建てのマンションなどを8棟建設し、4期に分けて分譲を行います。

本プロジェクトは周辺でインドネシア1号店となるイオンモール、インドネシア最大級のコンベンションセンター等の都市機能が順次開発・整備されるBSD地区中心エリアのランドマークとして、開かれた街づくりと郊外エリアの豊かな住環境を活かしたマンションとして日建設計の設計総合監修のもと、開発を進めてまいります。

✿ 日系企業のみで初の開発案件

東急不動産では1975年からインドネシアで分譲事業を展開しており、2012年には新たな現地法人「トウキウ・ランド・インドネシア」を設立し、独自開発を行えるよう体制整備を行ってまいりました。

第1期から第3期については、三菱商事株式会社(本社:東京都千代田区、社長:小林健)との共同事業とし、インドネシアにおいて初の日系企業のみでの開発案件となります。東急不動産が培ってきたインドネシアでの事業ノウハウと三菱商事の総合商社機能を活かし、プロジェクトの推進を図っていきます。

【プロジェクト概要】

土地面積	約 53,000㎡ (うち、共同事業 約 43,000㎡)
建物面積	約399,000㎡ (うち、共同事業 約363,000㎡)
棟数	8棟 (うち、共同事業 7棟)
総戸数	約3,000戸(予定)
スケジュール	第一期着工 2015年6月(予定) 第一期販売 2015年8月(予定)

◆(仮称)Simatupangプロジェクト

● 急速に開発が進む注目エリア

本プロジェクトは、トウキョウ・ランド・インドネシア社初の単独での分譲マンション開発事業となります。

本物件地は南ジャカルタの急速に開発が進んでいるSimatupang地区に位置しており、高速道路の開通によりスカルノハッタ国際空港へのアクセスが良好な場所です。また、将来ジャカルタ都市高速鉄道(MRT)が物件地前を通過する計画となっており、更にアクセス性が高くなることが見込まれるエリアです。

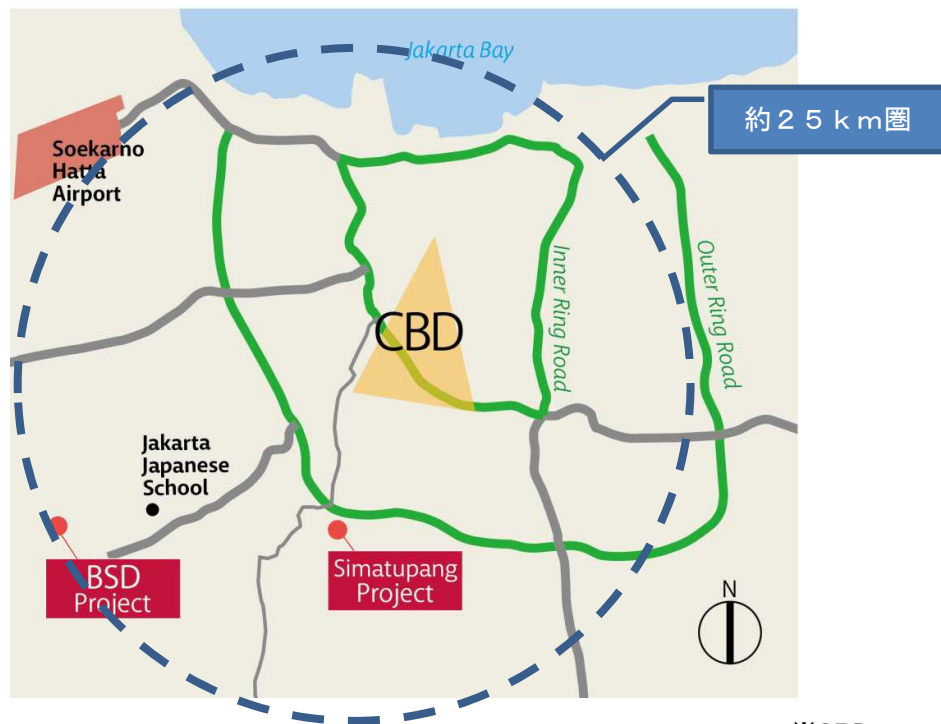
株式会社東急設計コンサルタント(総合設計監修)・有限会社クリマ(外観デザイン)・Gensler and Associates/International Ltd. 日本オフィス(インテリアデザイン)など日本の英知を集結し、敷地内には2棟・381戸の分譲マンションの他に、引渡後の利便性向上の為にレストランを中心とした利便施設を計画しています。

【プロジェクト概要】

土地面積	約15,000㎡	
建物面積	約76,000㎡	
総戸数	381戸(予定)	
スケジュール	着工 2015年12月(予定)	販売 2015年9月(予定)

【位置図】

インドネシア中心部地図



※CBD: central business district

◆インドネシアにおける東急不動産の事業展開

東急不動産では、1975年よりインドネシアで事業展開を図っており、これまでに約4,500戸の戸建住宅を供給してまいりました。2012年のトウキョウ・ランド・インドネシア社設立を皮切りに、今後も複数の分譲事業を展開していく予定です。

【事業年表(一部抜粋)】

1975年	バンドンにてプラコインダー社とのジョイントオペレーション参画
1981年	ジャカルタにてハカ社とのジョイントオペレーション参画
1995年	ハカ社に資本参加
2012年	PT. TOKYU LAND INDONESIA社設立